

株式会社マルマエ

2025年8月期

決算 補足資料

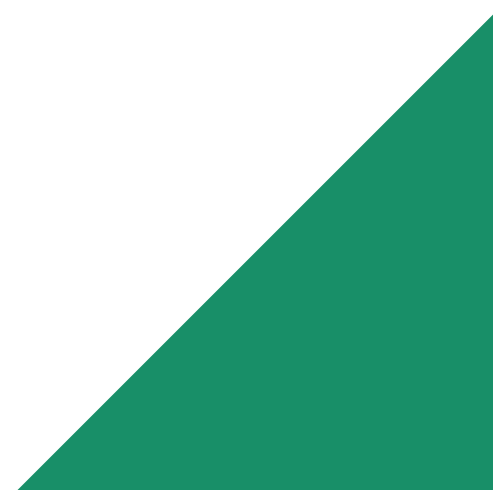
2025年10月10日

道を究め、未知に挑む。

marumae

総合力で未来を拓く

半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2024年8月期 累計期間 (単体)		2025年8月期 累計期間 (連結)		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
売上高	4,749	100.0	11,403	100.0	140.1
売上原価	3,916	82.5	7,855	68.9	100.5
売上総利益	832	17.5	3,548	31.1	326.4
販売管理費	675	14.2	1,444	12.7	113.8
営業利益	156	3.3	2,103	18.4	—
経常利益	42	0.9	1,936	17.0	—
特別損益	0	0.0	△0	0.0	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益 ※1	19	0.4	1,355	11.9	—
EPS (円)	1.55	—	107.11	—	—

Point

売上高

- **11,403**百万円
(セグメント別の詳細はP5～)

売上 原価

- 材料費：**2,507**百万円
- 外注加工費：**1,166**百万円
- 労務費：**2,196**百万円
- 減価償却費：**991**百万円

販売 管理費

- 販管人件費：**697**百万円
- のれん償却額：**125**百万円
- 支払手数料：**170**百万円
※うち株式取得費用83百万円

営業外 費用

- 支払利息：**105**百万円
- 支払手数料：**60**百万円
※主にMAに係る費用

※1・・・2024年8月期は「当期純利益」

※対前年同期増減率は2024年8月期の個別業績に対する数値を参考値として記載

1. 決算概要

B/S分析

B/S

	(百万円)	
	2024年8月期 会計年度末 (単体)	2025年8月期 会計年度末 (連結)
流動資産	5,572	10,477
現金及び預金	3,028	4,252
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	1,591	3,407
固定資産	5,891	14,945
土地・建物及び構築物（純額）	2,556	4,687
機械装置及び運搬具（純額）	2,646	4,387
のれん	—	4,696
流動負債	1,348	4,623
有利子負債（短期）※	596	1,506
固定負債	2,952	12,648
長期借入金	2,863	12,000
負債合計	4,300	17,271
純資産合計	7,163	8,151
総資産	11,464	25,423

※ 有利子負債（短期）：短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金
Marumae Co., Ltd. All Rights Reserved

Point

資産 25,423百万円

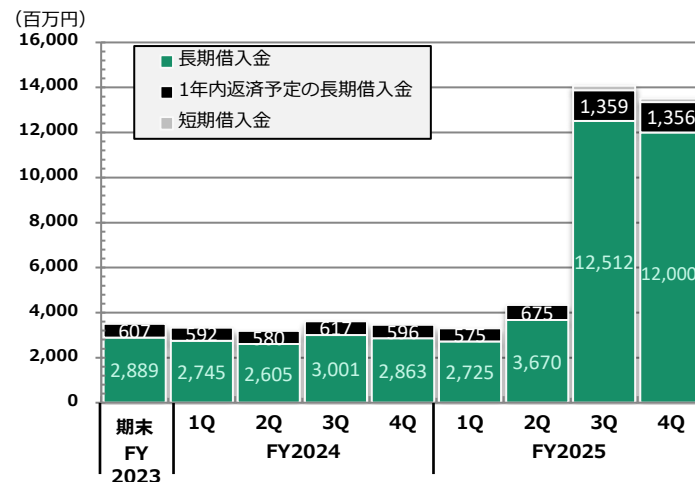
- 有形固定資産：9,538百万円
- 現金及び預金：4,252百万円
- のれん：4,696百万円

負債 17,271百万円

- 長期借入金：12,000百万円
- 買掛金：1,384百万円

純資産 8,151百万円

- 利益剰余金：5,394百万円
- 自己資本比率
62.5%(単体) → 32.1%(連結)



2. セグメント情報

セグメント分類



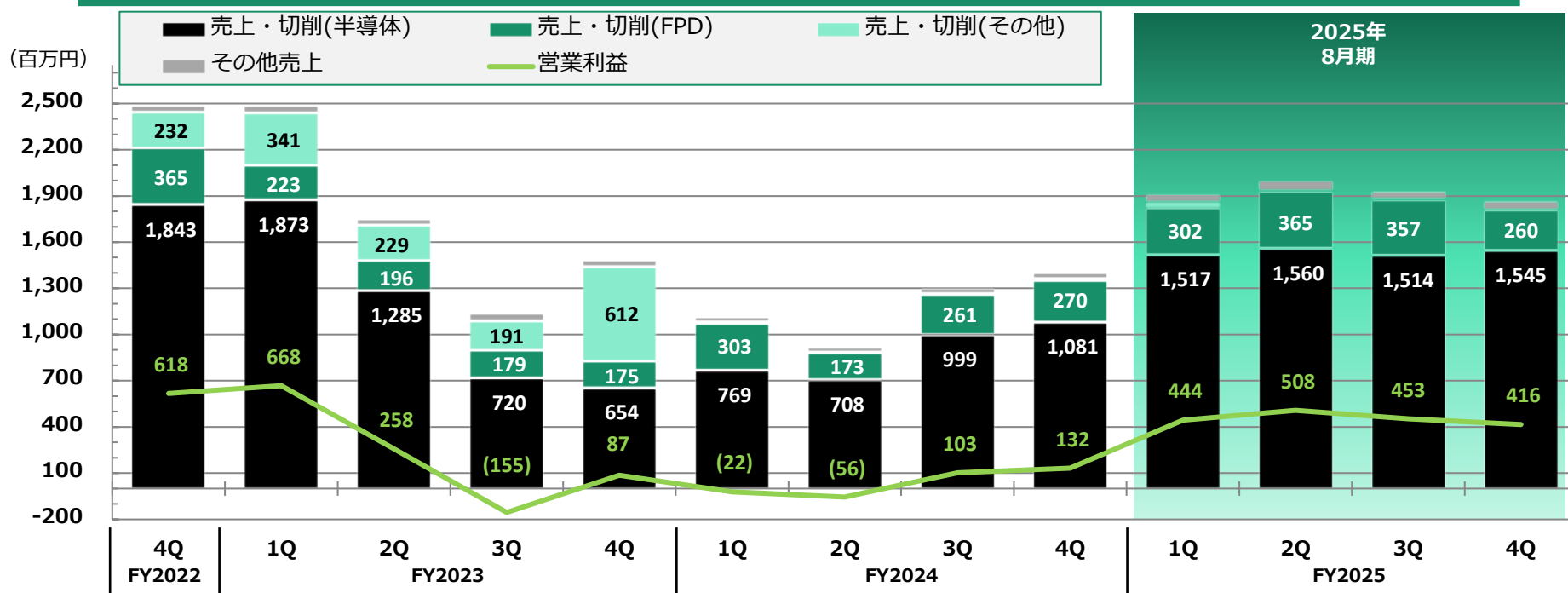
- マルマエ 事業
- 半導体・FPD・その他



- KMAC (KMアルミニウム) 事業
- IT器材・半導体装置部材・基礎素材

3. セグメント別概況

四半期業績の推移（精密部品事業）



Point

半導体分野

- 6,136**百万円（対前年同期：72.4%増）
- 新規設備投資は一部を除き停滞も消耗品好調続く
 - 8月単月は夏季休暇の影響もあり受注停滞

FPD分野

- 1,286**百万円（対前年同期：27.5%増）
- OLED向けに停滞感出始める

その他分野

- 61**百万円（対前年同期：46.5%増）
- 生産能力に余力なく新たな動きなし

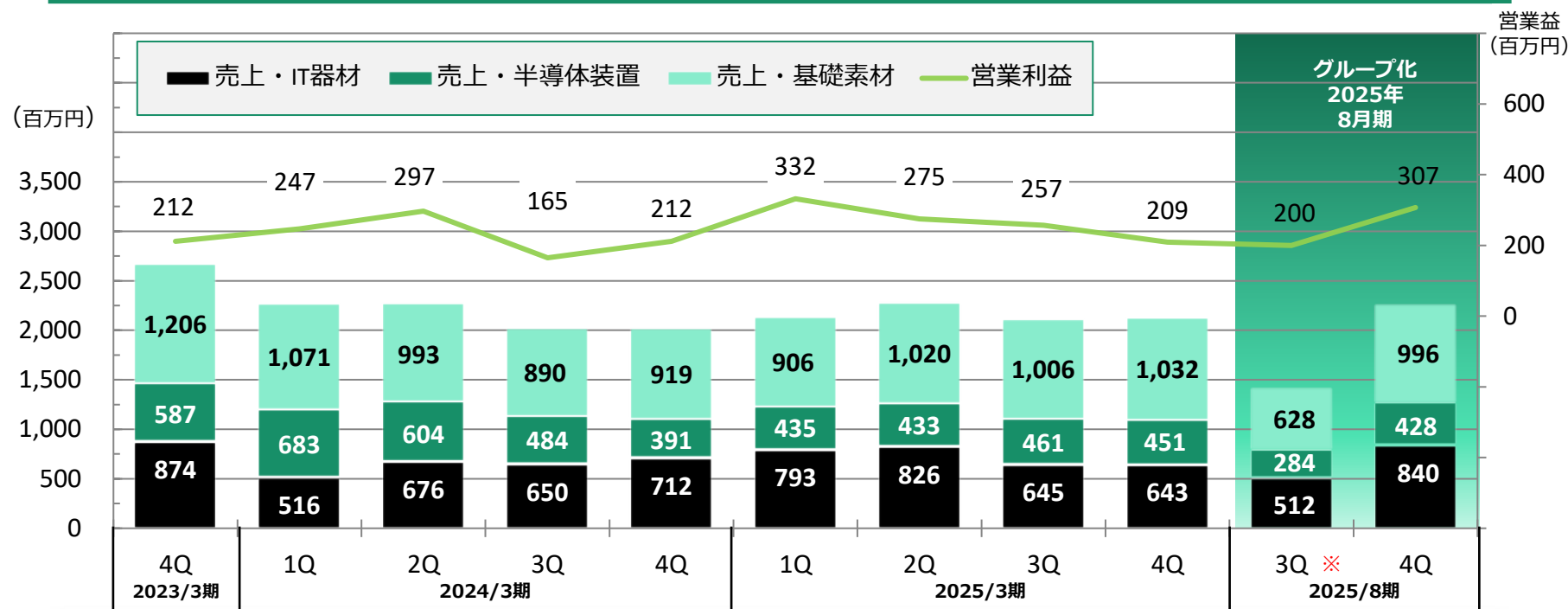
①売上高は、半導体分野横ばい

②損益面は稼働率改善等で改善継続

- 前期末比で受注損失引当金等は19百万円減少（改善）
- 設備投資と人員採用に伴い期末にかけ費用増加

3. セグメント別概況

四半期業績の推移（機能材料事業）



Point

※当事業3Q売上は4月5月の2か月間の数値です

IT器材

1,352百万円

- ・ターゲット材好調
レガシーロジックに加え、HBM DRAMが伸長
- ・表面処理も消耗品需要で底堅く推移

半導体 装置部材

712百万円

- ・真空チャンバー客先在庫解消待ちで横ばい推移
- ・市場停滞で2026年8月まで解消遅延可能性

基礎 素材

1,625百万円

- ・電解コンデンサ安定・HDD向け好調・小口停滞

①売上高は、半導体工場稼働等に追従

②損益面はIT器材好調で改善傾向

- ・当初想定よりも好調な推移
- ・期末に在庫評価減や退職給付等の一時的費用約70百万計上

4. 2026年8月期の業績予想

来期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

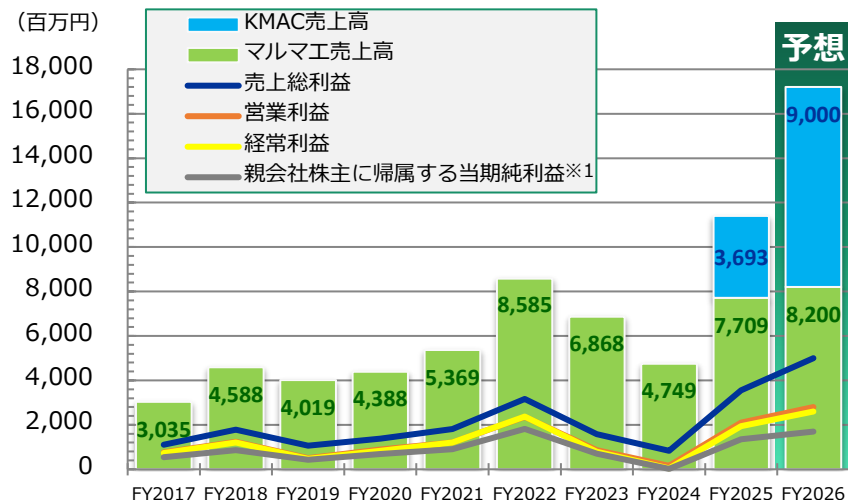
業績予想

2026年8月期 連結業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	8,100	1,200	1,100	700	55.28
通期	17,200	2,800	2,600	1,700	134.26

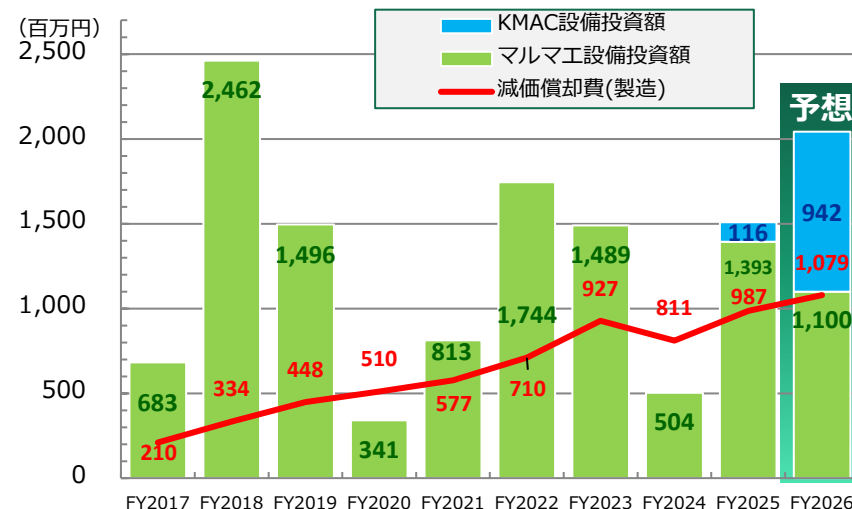
Point

- ✓26/8期はKMAC連結フル寄与
- ✓通期のれん等償却3億 金利2億増加
- ✓設備投資はKMAC上乘せ（新工場等）
- ✓26/8期からマルマ工償却も定額法へ統一
- ✓KMAC資産負債の見直しを行った結果
期末のれんを47億、16年償却に見直し

当第3四半期より連結決算開始。当期はKMAC 5 か月分のPL連結



※1・・・FY2024以前は「当期純利益」
 ※FY2024以前は単体決算数値
 ※KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

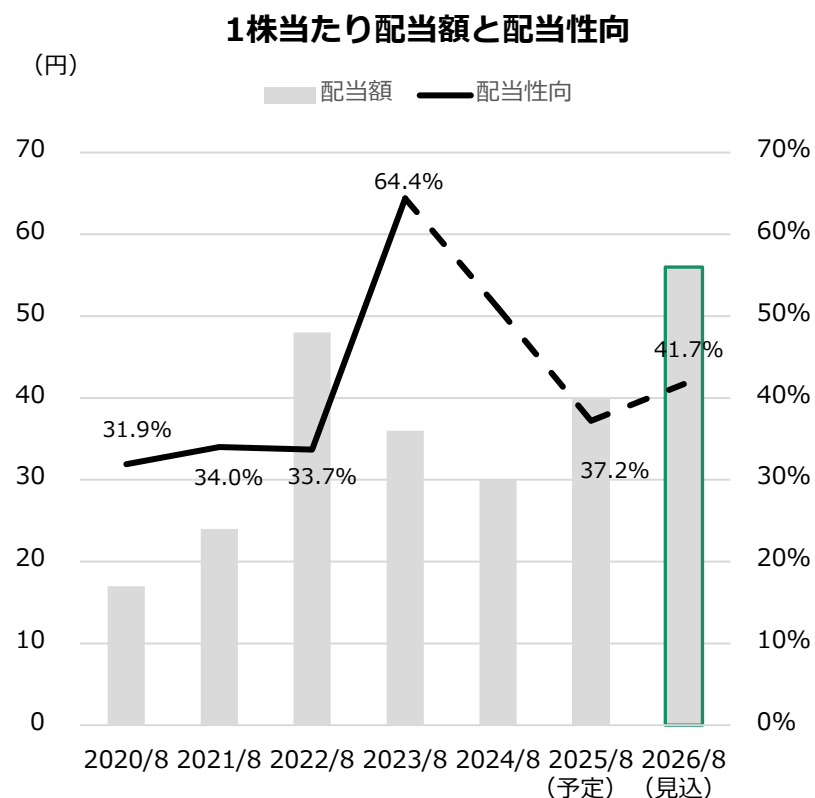


※設備投資額はキャッシュフローベース
 ※FY2024以前は単体決算数値
 ※KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

4. 2026年8月期の業績予想

株主還元

配当等 実績と予定



配当政策

- 中期事業計画で35%以上の配当性向を予定
- 最低配当額を年30円(半期15円)の安定配当化

株主優待

- 半年以上継続保有の株主様へ1,000円分のオリジナルQuoカード提供

当期配当

- 2026年8月期は上期28円、期末28円の合計56円/株の配当予定
- 消耗品受注が好調なことや、KMACの連結に伴う収益性の向上を鑑み増配
- 企業成長に向けた投資と適度な資本効率を目指す配当政策を行っていく方針

5. 中期事業計画

中期事業計画 「Fusion2028」

KMAC連結後の中計策定
2026年8月期～2028年8月期

5. 中期事業計画

グループ経営方針 「素材と加工の技術力で社会に貢献する」

グループ中期経営戦略

A.新素材・新技術の創出で顧客ニーズを取り込む

半導体製造工程のクライオエッチングに必要な低温対応素材の開発や、絶縁性の高いコーティングの開発を進める（主にKMAC）

B.消耗品受注拡大で安定成長を狙う

エッチング装置やCVD装置において、真空中で使用される高付加価値な消耗品であるESCや電極類の生産に必要な技術力を高め、受注を拡大する。結果として、半導体設備投資のみに左右されず、安定成長できる経営を目指す

5. 中期事業計画

数値計画（連結）※2025年7月11日取締役会承認

中期事業計画 Fusion2028

数値目標
（連結）



売上高 **250**億円

営業益

56億円

営業利益率
（セグメント別）



精密部品事業 **30%**

機能材料事業 **18%**

ROIC



連結ROIC目標 **15%**

配当性向



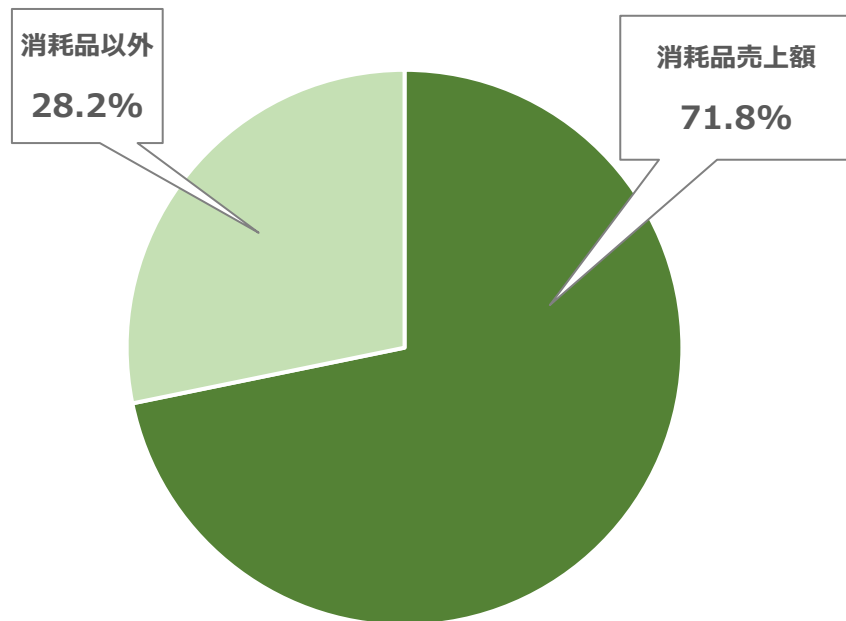
配当性向 **35%**
以上目標

最低配当額 **30**円※
年間

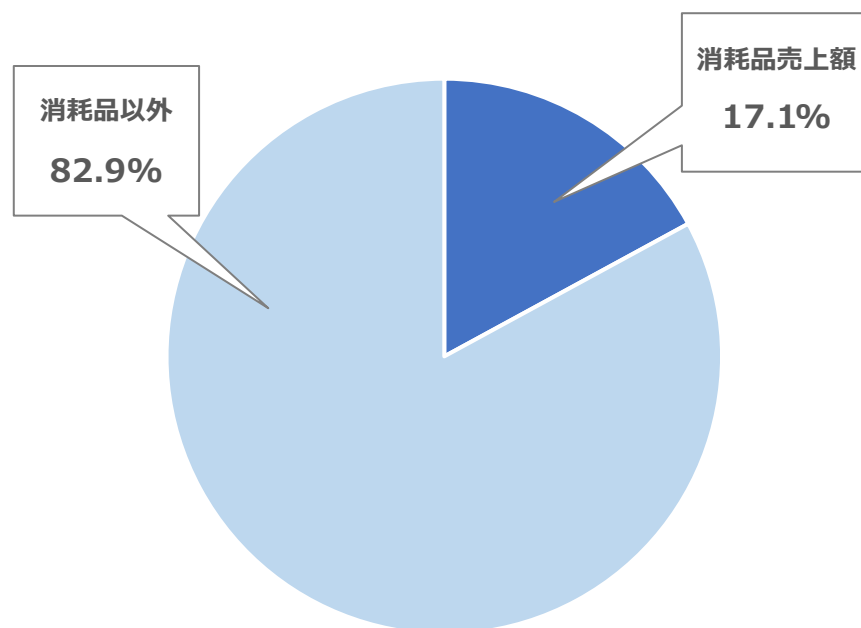
5. 中期事業計画

消耗品受注拡大で安定成長狙う ※本数値は精密部品事業のみ

2025/8期 半導体分野



2025/8期 FPD分野



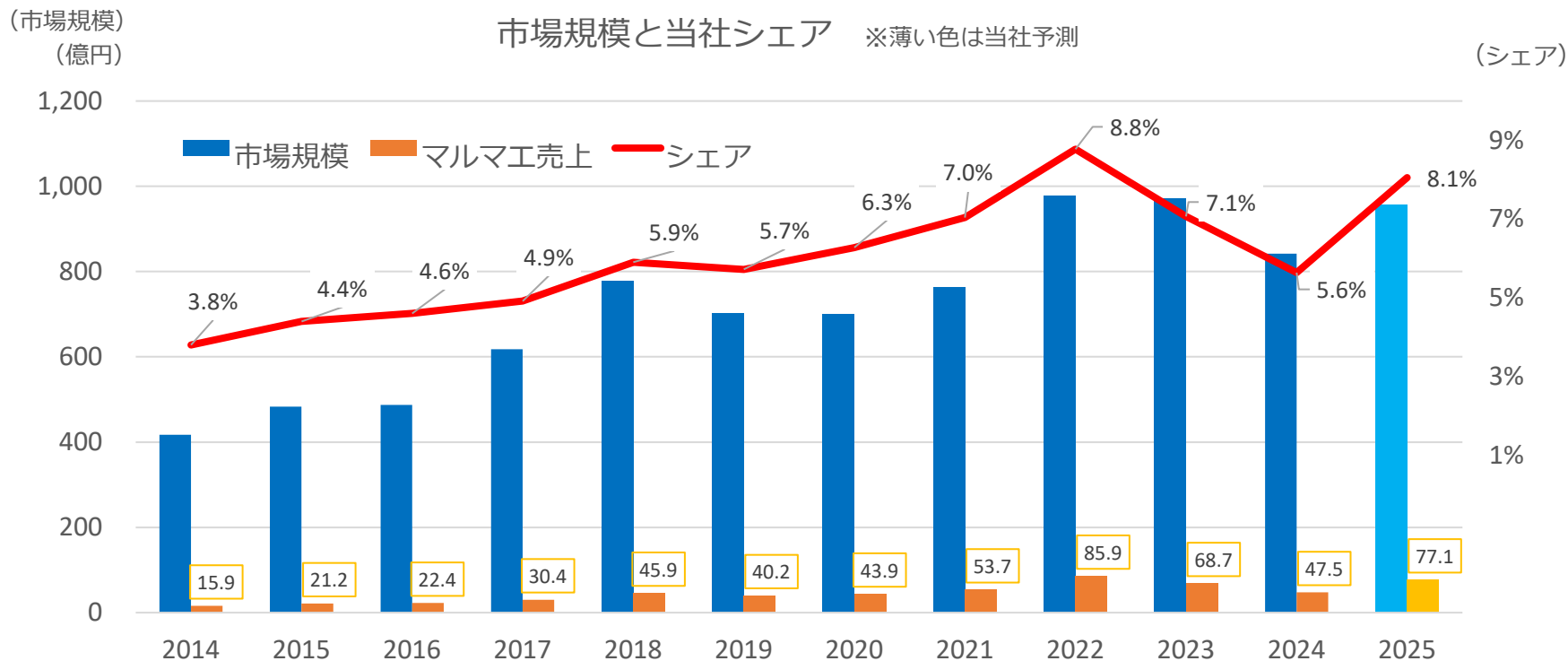
安定化戦略

エッチング装置消耗品復活

機能材料事業セグメントもアルミターゲット材順調
顧客のターゲット新工場建設計画も追い風（中期的成長要因）

5. 中期事業計画

当社の属する市場とシェア推移



成長性

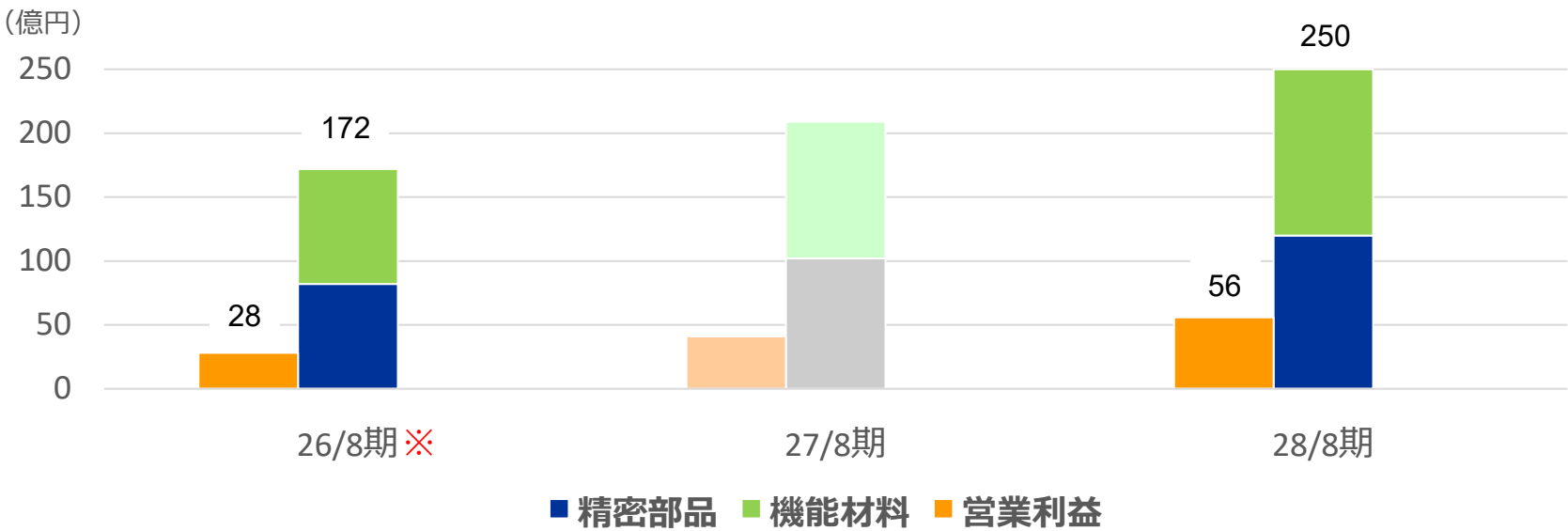
※当社シェアは精密部品セグメントのみの数値です

- ✓ 当社の属する市場は2022年まで拡大後に、中国レガシー投資以外は停滞したが、2025年以降再拡大傾向
- ✓ 当社は先端向けが多く、'23年～'24年のシェアを落としていたが、2025年は回復しシェア1位に復帰見込

- ・ 本項の市場規模データは、当社と類似した半導体とFPD製造装置の真空パーツを生産する企業で、当社が認識する一部（当社含30社）の企業について、各暦年に属する決算期末ごとの売上高を調査機関の情報を基に集計したものです。
- ・ 2025のデータにおいて、決算月の違いから現時点でデータ未開示の会社については、各社の事業環境をもとにした当社予測値が含まれます。

5. 中期事業計画

セグメント別目標



決算期	26/8期	28/8期
売上高（精密部品）	8 2 億円	1 2 0 億円
営業利益（精密部品）	1 9 億円	3 6 億円
売上高（機能材料）	9 0 億円	1 3 0 億円
営業利益（機能材料）	1 2 億円	2 3 億円
営業費用（共通）	3 億円	3 億円

※2026年8月期は、最新見通しに修正

6. サステナビリティ戦略

グループ一体でサステナビリティ推進を開始

 環境（気候変動・資源の効率的な利用）

 人的資本（多様化・育児介護両立・エンゲージメント向上）

 ガバナンス（グループでのESG委員会運営）

今後の主な取り組み

- KMACを考慮したKPI見直し
- KMACの事業特性も踏まえて、気候変動戦略を再検討
- グループの強みを発展させる長期視点での人材育成

グループ一体で戦略策定とモニタリングを進めます

6. サステナビリティ戦略

マルマエ：サステナビリティの目標と進捗

■ 環境 (Environment)

2040年ネットゼロ目標【Scope1,2,3】

再エネ投資：太陽光・蓄電池導入【投資額6.4億円】

(FY2028目標) 再エネ比率27% → 実績 13.3%

東京エレクトロン「グリーンパートナー」3年連続認定

CDP「B」スコア

■ 社会 (Social)

エンジニア育成：(2030年目標) 100名 → 現状75名まで増加

エンゲージメントサーベイ導入

女性活躍推進：管理職比率13.6%、役職者比率（GR長以上）15.69%

障がい者雇用率：2.62%で改善中

■ ガバナンス (Governance)

全社的リスク管理の推進：リスク評価基準策定、財務影響評価、対応策検証中

コンプライアンス研修（行動規範・ハラスメント・人権・DE&I）を継続

情報セキュリティ：顧客評価sランク、情報セキュリティ教育

※対象期間：2025年8月期

6. サステナビリティ戦略

KMAC : サステナビリティの目標と進捗

■ 環境 (Environment)

CO₂排出量 (Scope1,2)

2030年目標 : 2013年度比▲46%削減 (21,490t→約11,600t)

2024年度実績 : 約10,050t

■ 社会 (Social)

女性社員比率 : 11.3%、女性役職者比率 (係長以上) 4.8%

育児休業取得率 : 女性100%、男性100% (育児目的休暇含む)

障がい者雇用率 : 2.56%

健診受診率 : 100%維持 異常所見者の受診率改善へ勧奨活動中

■ ガバナンス (Governance)

安全 : 休業災害2件

コンプライアンス研修 (内部統制・ハラスメント・情報セキュリティ) を継続

※対象期間 : 2025年3月期

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

Company Profile

marumae

- 1988年 10月 マルマエ工業有限会社設立
- 1992年 T'sM'sR&D創業
オートバイ部品製造
現在のマルマエ事業
- 1997年 10月 R&D事業部として
マルマエに合流
- 2001年 4月 株式会社マルマエに改組
- 2004年 11月 グリーンシート銘柄指定
- 2006年 12月 東証マザーズ上場
- 2018年 12月 東証一部指定
- 2022年 12月 東証プライム移行

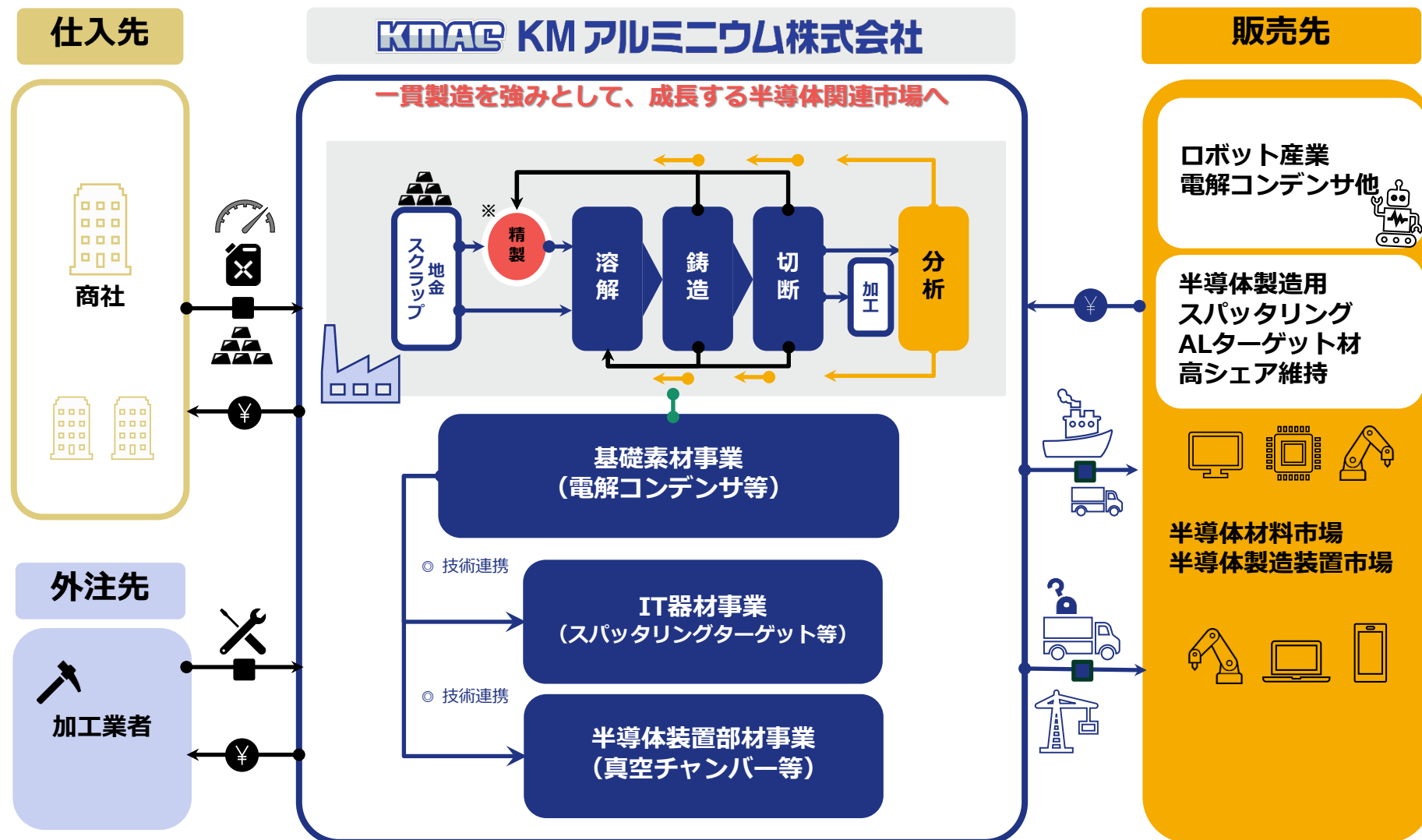
KMAC

- 1989年 2月 三井アルミニウム工業(株)鋳造部門を
三井グループの出資でスピノフ
九州三井アルミニウム工業(株)を設立
- 1997年 9月 アルマイトクリーンルーム完成
- 2006年 12月 超高純度（5N）工場完成
- 2007年 6月 鋳物チャンバー用
「鋳物第3工場」完成
- 2015年 三井グループから
ケイエムジェイホールディングス2(株)へ株式譲渡
KMアルミニウム(株)へ商号変更

2025年4月
グループ化

機能材料（KMAC）事業モデル

永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ



※精製（純化）技術・・・偏析法的一种であるベシネー法により、アルミニウムの純度を上げる世界でも有数の技術。

機能材料（KMAC）事業モデル

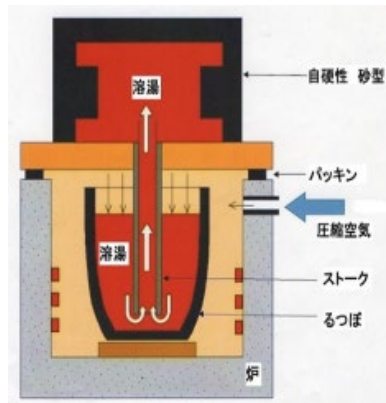
永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ

半導体向け真空チャンバー当社の優位性

背景

- 装置大型化とチャンバー搭載数増加
- 一般的に切削チャンバーは歩留り低くコスト高

低圧鑄造技術を駆使し
低コスト且つ高品質の鑄物製品供給



【低圧鑄造の仕組み】

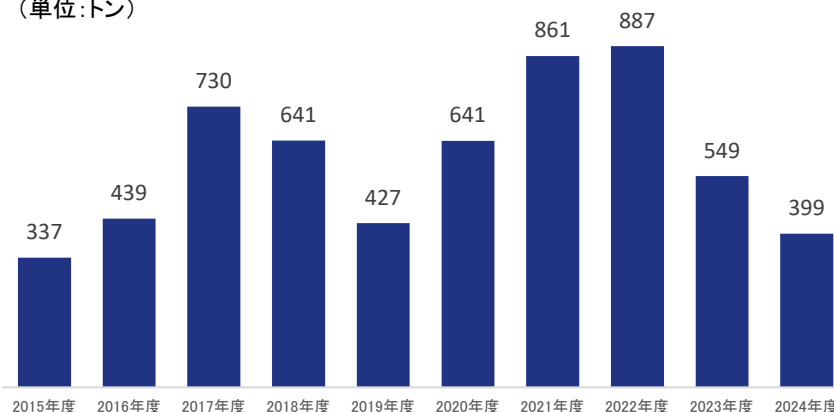
- ① 素材からの一貫製造を行っているため大型溶解炉・鑄造炉等の設備・インフラ保有
- ② 成分分析ノウハウを活用し、鑄物用合金を開発
- ③ 素材製造で培った溶湯管理技術

技術

- KMACでは、400kg以上の大型低圧鑄物製品の提供が可能！！

KMAC真空チャンバー販売量推移

(単位:トン)

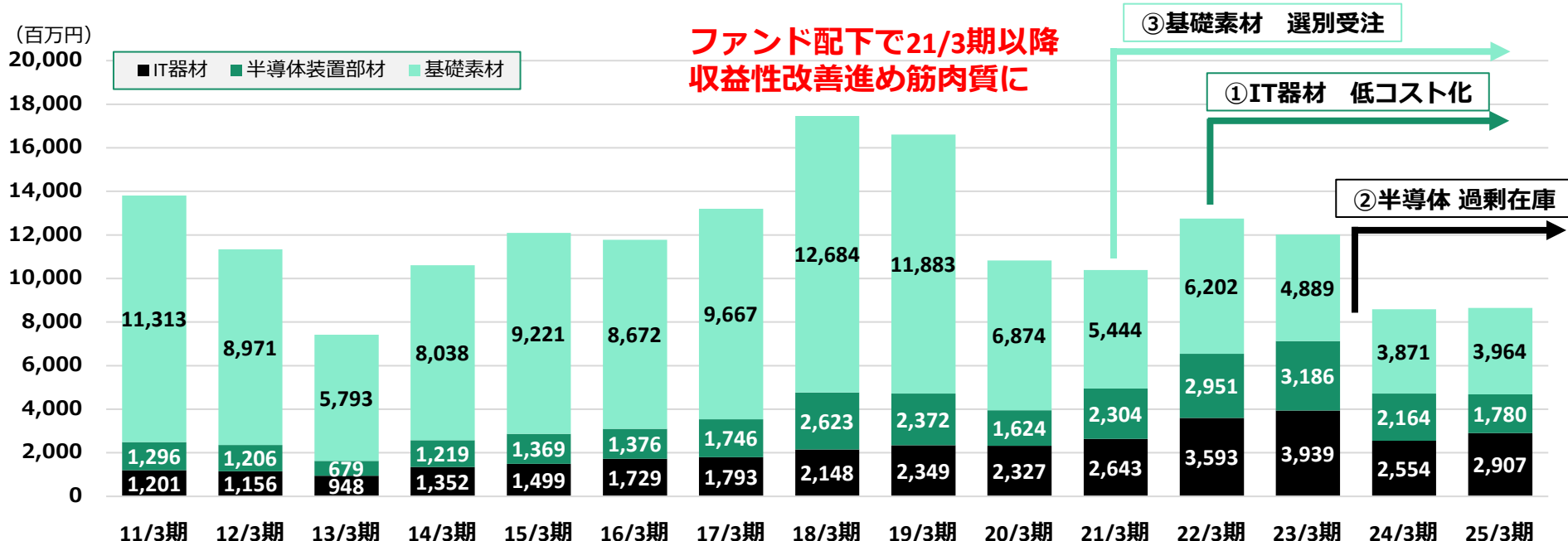


KMAC

近年は在庫調整影響受け
一時的な減少中
今後は、半導体装置需要増に加え、
低コスト且つ高品位の強みを活かし
新規顧客拡販中

機能材料（KMAC）事業 過年度業績

業績推移（機能材料事業）



Point

IT 器材

- 自社精製強化で競争力強化** 高収益
- 主にターゲット材向け消耗材
 - 22/3期以降の低コスト活動で高利益率化

半導体 装置部材

- WFE市場に連動** 高収益
- 主に半導体エッチング装置の真空チャンバー
 - 24/3期以降は客先過剰在庫の影響続く

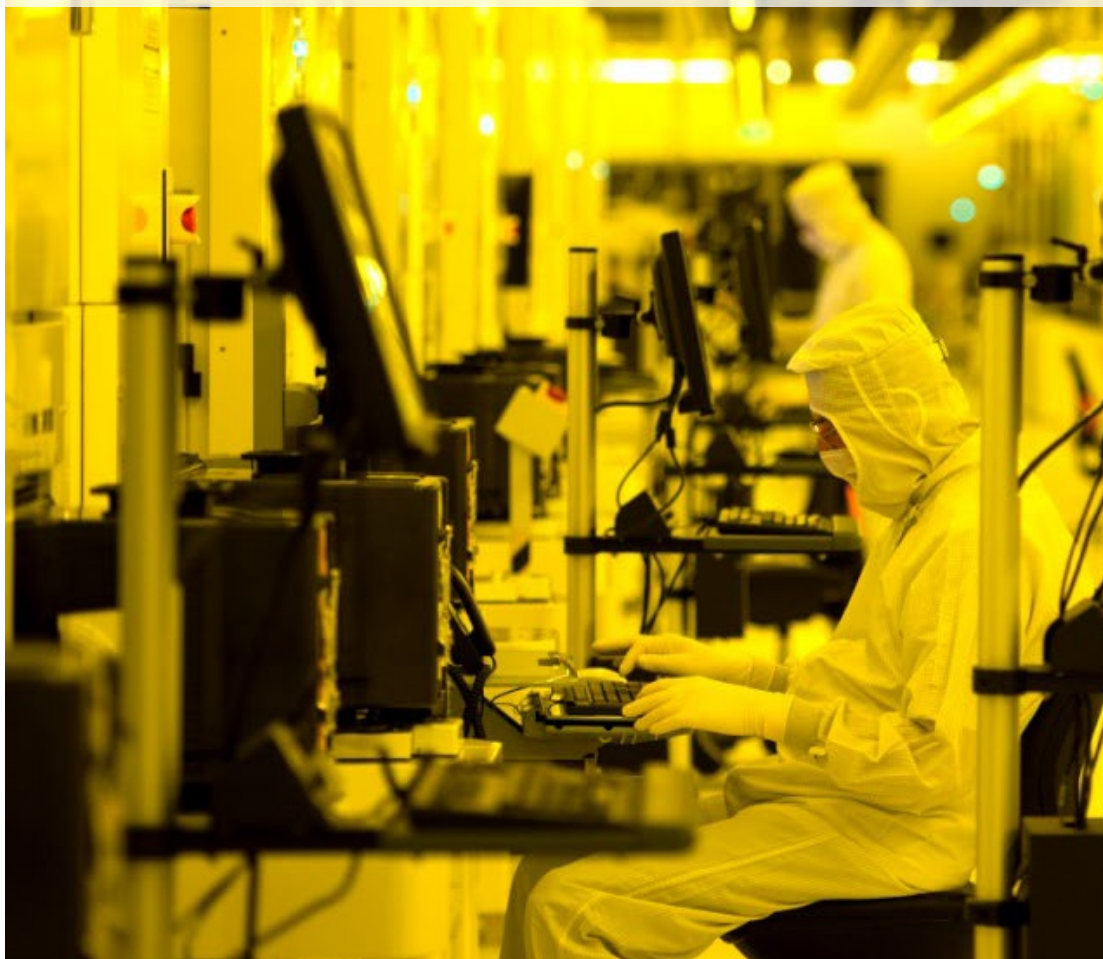
基礎 素材

- 戦略的に低付加価値受注を低減** 基盤
- 現在は主に電解コンデンサ用やハードディスク用高純度アルミ。アルミスラブ材の小口販売も行う
 - 2021年以降の市況停滞期に選別受注本格化
 - 限界利益率は35%程度にとどまるが21/3期以前に比べ大幅改善

精密部品（マルマエ）事業モデル

顧客の主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています



主要工程（半導体）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
洗浄

（FPD）

エッチング
CVD
コータ/デベロッパ
スパッタ
洗浄
イオン注入

主要製品

真空チャンバー
シャワーヘッド
排気板
静電チャック
ヒーター類
上部電極
ターゲット
搬送系パーツ類
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2025年8月31日現在）
代表者	代表取締役社長 前田 俊一
連結子会社	株式会社KMX、KMアルミニウム株式会社
総従業員数 （連結）	595名（2025年8月31日現在） 他 派遣社員70名
グループ 所在地	出水事業所 （本社） 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地
	高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保 3816番41
	関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
	KMアルミニウム 株式会社 （本社 工場） 〒836-0067 福岡県大牟田市四山町80番地
グループ 事業内容	株式会社マルマエ ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・精密機械部品及び機械装置の点検、修理 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
	KMアルミニウム株式会社 ・アルミニウムのインゴット、ビレット、スラブ、合金の製造・販売 ・高純度アルミニウム地金の製造・販売 ・建具・板金工事業 ・前各号に付帯関連する一切の事業

発行済株式総数		13,053,000株
単元株式数		100株
株主総数		12,632名
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,449,011株
	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	788,800株
	前田 美佐子	504,000株
	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) （常任代理人）	241,964株
	株式会社日本カストディ銀行（信 託口）	200,600株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	マルマエ共栄会	109,500株
	BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS （常任代理人）	95,988株
	大境 宏良	93,000株
（注）自己株式が390,706株あります。 （2025年8月31日現在）		

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、当グループ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様に当グループの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当グループは一切責任を負うものではありません。

お問い合わせはこちら

株式会社マルマエ 管理本部管理部人事・企画課 IR担当

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Mail ir@marumae.com

▲ 出水事業所

〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地

<https://www.marumae.com/index.html>

道を究め、未知に挑む。

marumae



道を究め、未知に挑む。

marumae

